

# 令和3（2021）年度 学校自己評価報告書

学校法人 中島学園  
熊本歯科技術専門学校

---

# 目 次

I	本年度（令和3年度）の重点目標と達成計画.....	1
II	評価項目の達成および取り組み状況 .....	2
	1. 教育理念・目標・人材育成像 .....	2
	2. 学校運営 .....	2
	3. 教育活動・学修成果 .....	3
	4. 学生支援 .....	4
	5. 教育環境 .....	4
	6. 学生募集 .....	5
	7. 財務.....	6
	8. 法令等の遵守 .....	6
	9. 社会貢献・地域貢献 .....	7
III	学生アンケート結果（在校生及び卒業生その保護者）	

# I 本年度（令和3年度）の重点目標と達成計画

## 1. 教育活動

### （1）国家試験対策

国家試験対策をシステム化し、早い段階から開始することで、高い合格率を目指す。計画的な対策（学校模試と業者模試の併用）と個別指導を充実させることで、多角的に合格までをサポートし、全科（歯科技工士科・歯科衛生士科）国家試験合格100%を目指す。

### （2）中途退学者の減少

クラス担任を軸に専任教員も含めたサポート体制を充実させる。指導方針を教員間で共有する取り組みを目標とする。またホームルームや個別面談を定期的に行い、学生個々の状況把握を行い、保護者と連携をとりながら退学者0名を目指す。

### （3）入学生の確保

今年度も新型コロナウイルス感染症による活動縮小と予想されるため「事務局」を中心に、効果的な活動（ホームページも積極的に活用する）に取り組む。その中で歯科技工士・歯科衛生士そして学校の認知度をさらに上げる仕組みを構築する。入学定員充足率は、最低でも80%確保を目指す。

本年度行う広報活動は以下の通りである。

- ① 学校訪問については、高校への出向が難しい状況下にあるが、今年度は指定校推薦校へのアポイントをとり訪問可能校は実施する。
- ② オープンキャンパスの実施内容を再検討し、規模縮小等安全対策を講じながら実施する。新しい試みとして「オンラインオープンキャンパス（進学相談会）」を開始。
- ③ 会議等制限がかかる中ではあるが、できる限り歯科関係団体との連携を継続したい。歯科技工士・歯科衛生士双方の認知度向上と出願数の確保に向けて動いていく。
- ④ 「専門実践教育訓練給付制度」指定講座を積極的にPRしていく。
- ⑤ 「高等教育の修学支援新制度」の認定校となるべく、確認申請を実施する。

### （4）経営の効率化

常時目標としている、経費節減（特に消耗品関連）に向けてのペーパーレス意識の強化を図る。学内ネットワーク・e-mailの利用を継続して促進し、引き続き本格的に情報の共有・協働の見える化を実施する。

## II 評価項目の達成および取り組み状況

### 1. 教育理念・目標・人材育成像

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

No.	評価項目	評定
1	教育理念・教育目標・育成人材像は明確に定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
2	学校における職業教育の特色を打ち出し、実践しているか	3
3	教育理念・教育目標などは教職員・学生・保護者・関係業界に対して周知されているか	3
4	各科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

#### (1) 現状と課題

- ① 若年従事者は慢性的に不足している。この不足に対して歯科医療の専門教育養成校として、入学生を安定確保できるよう専門分野の特性を明確にし、職業教育の特色をより一層打ち出す必要がある。

#### (2) 今後の改善方策

- ① 各科卒業後の在職状況、知識・技術ニーズの把握に努める。(最低1年は追いかける)
- ② 歯科衛生士科においては、実習期間巡回の機会を活かし、医院他関係団体と密接に情報交換を行い、連携を保つことが必要である。

### 2. 学校運営

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

No.	評価項目	評定
1	目的・目標等にあった学校運営方針が策定され、また各種諸規定・規則等の整備がなされているか	4
2	運営組織や意思決定機関は、規則等において明確化されているか。また、有効かつ効率的に機能しているか	4
3	人事・給与等に関する制度は整備されているか	4
4	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
5	教育活動に関する情報公開が適切に行われているか	4
6	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

#### (1) 現状と課題

- ① 諸規程は継続して見直し、整備が行われている。
- ② 学校自己評価は公開され、学校活動・学生の動向等の情報もタイムリーに発信している。

(2) 今後の改善方策

- ① 学内ネットワークをさらに利用し、作業効率化を進めていく。教職員のスキルアップも引き続き継続して実践することが、学生サービス向上につながることに理解を求めたい。

3. 教育活動・学修成果

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

No.	評価項目	評定
1	教育理念・教育目標の沿った教育課程が策定され、カリキュラムが体系的に編成されているか	4
2	1に示すカリキュラムは定期的な見直しが行われているか	4
3	カリキュラムは教職員および学生に周知されているか	4
4	時代に即した先端的な知識・技能等を修得するための研修や教職員の資質向上のための取り組みが行われているか	3
5	授業に対する評価・改善の体制および実施が行われているか	3
6	成績評価・進級・卒業の基準は明確であるか	4
7	国家試験合格率の目標を設定するとともに、取得（合格率）向上に向けての取り組みが図られているか	4
8	退学率の低減が図られているか、また低減に向けての取り組みは教職員間で共有されているか	3
9	就職率の向上が図られているか	4

(1) 現状と課題

- ① コミュニケーション力の低下が発信力・表現力にとどまらず聴取力・読解力不足まで顕著化しているため、国家試験対策指導に改善・工夫が必要である。
- ② 担任が就職担当として支援を行っていたが、教務主任も対応することで、教育活動集中時期の細かな対応が緩和された。
- ③ 退学防止の取組みについては、教職員間で共有している。しかし退学者が毎年出ていることは課題である。コロナ禍を理解してきた1年であったと思われる。歯科衛生士科で退学者が昨年度より減少した。再度取組みの徹底を図っていくことが急務である。

令和3年度退学者：歯科技工士科 6.5% (2/31名)、歯科衛生士科 1.8% (2/111名)

(2) 今後の改善方策

- ① 国家試験合格率は、両科とも合格率100%の目標を掲げているが、2021年度国家試験合格率：歯科技工士科 100% (14/14名)、歯科衛生士科 97.1% (34/35名)であった。「国家試験」に対して、学生自身が早期のモチベーション向上が重要である。
- ② 就職率は常に100%であるが、卒業生の在職状況も把握し、離職率を下げる働きを行いつつ、専門性を活かし、業界の認知度を高めていけるようさらなる工夫・努力を続ける。

#### 4. 学生支援

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

No.	評価項目	評定
1	進路（就職）および学生生活に関する相談・カウンセリングに関する体制が整備され、潤滑な運営が定期的に行われているか	4
2	奨学金等の経済的支援制度が整備され、支給から返還までの手続きが確立されているか	4
3	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
4	健康管理についての指導および支援の体制は整っているか	3
5	不慮の事故など、在学中の学生生活に係る災害に対して、保険に加入しているか	4
6	保護者との連携（情報提供等）がなされているか	3
7	卒業生に対する支援体制があるか	4

##### （1）現状と課題

- ① 本校独自の奨学金制度はないが、日本学生支援機構（JASSO）の奨学金を募集から返還まで一連の手続きは確立し、運用できている。
- ② 学年担任制により、学生の相談には親身に取り組んでいる。また、定期的に教務会議を行い学生の状況も含めた情報共有が図られている。
- ③ 既卒者求人依頼にも常時対応している。

##### （2）今後の改善方策

- ① 入学生のみならず、在校生に対するさらなる経済的支援対策が求められる。  
（次年度 2022 年 4 月より、修学支援新制度対象校となるべく確認申請を提出予定）
- ② オンライン授業への対応は可能であるが、学校方針として対面授業をメインにすえ運営していきたい

#### 5. 教育環境

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

No.	評価項目	評定
1	教室・実習室等は、室数・広さともに教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4
2	学生が実習等を行う上で、教室を含めた諸施設を提供（開放）しているか	3
3	休憩室等のスペースが置かれているか	3
4	防災に対する設備・非常時の体制は整備されているか	4

(1) 現状と課題

- ① オンライン授業となった場合のPC貸出など検討している。
- ② 防災点検も法令に基づいて実施している。毎年6月に防災訓練を実施。(今年度はコロナ禍により中止)
- ③ 教室・実習室等の清掃は十分実施されている。経年劣化が認められるようになってきた。

(2) 今後の改善方策

- ① 今後リニューアルが必要となってくる。数か年計画で校舎内部・外部の手直しを計画中。
- ② 機器・備品は学習に支障をきたすことがないように日々の点検を怠らず、年度末の備品チェックとともに定期的なメンテナンスを受けるなど早期に対応する。

## 6. 学生募集

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

No.	評価項目	評定
1	学生募集計画を策定し、適宜実施されているか	4
2	学校案内・募集要項の内容は出願者が必要とする内容が掲載され、かつ内容は適切なものになっているか	4
3	学生募集に対する対応等、体制は整っているか	4
4	オープンキャンパス・体験入学の回数や時期、また実施する内容は参加者（出願者）が学校を把握するに十分なものとなっているか	4
5	業界関係団体（歯科医師会）等と連携して、歯科業界への認知度・志願者向上に向けた連携が取れているか	4
6	出願状況はどうか、また定員充足率は満足できるものであるか	2

(1) 現状と課題

- ① コロナ禍により高校訪問等ほとんどの募集活動が（特に外部活動）できなかった。各種情報の提供をホームページより積極的に発信。ホームページリニューアルの効果が出た。
- ② 学生の受け入れ募集については、毎年度適切に実施されている。
- ③ 当初予定になかった、オンライン進学相談会を継続して実施した。

(2) 今後の改善方策

- ① 出願者・入学者において歯科衛生士科はおよそ昨年並みを確保した。歯科技工士科は未だ下回っているため、募集活動のさらなる工夫をしている（中学校への啓発活動：ポスター）。
- ② 100%定員確保は必須の命題であるが、最低でも90%は確保できる体制をさらに整える。2022年4月学生定員充足率64.5%、スタート人数（DT科：25名、DH科：117名）

## 7. 財務

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

No.	評価項目	評定
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4

### (1) 現状と課題

- ① 毎年度初めに予算を作成し、それに従って実行している。
- ② 学園（学校）監査による監査を適正に実施している。

### (2) 今後の改善方策

- ① 懸案であった情報公開（財務その他）をホームページにて実施中。

## 8. 法令等の遵守

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

No.	評価項目	評定
1	関係法令（学校教育法・私立学校法）・専修学校設置基準の遵守がなされているか	4
2	個人情報に関して、その保護のための対策がとられているか	4
3	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
4	自己評価結果を公開しているか	4

### (1) 現状と課題

- ① 法令等を遵守し、適正な運営が行われている。
- ② 個人情報を含めたデータ管理についてのセキュリティ対策は、現状出来る範囲での万全の態勢で取り組んでいる。

### (2) 今後の改善方策

- ① 自己評価の実施、結果公開は問題なく行われているが、改善目標であった学校関係者評価委員会も実施できた。



## 9. 社会貢献・地域貢献

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

No.	評価項目	評定
1	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	—
2	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献をおこなっているか	—

### (1) 現状と課題

- ① 昨年度より評価項目として設定したが、コロナ禍により全く活動ができなかった。  
今年度も評価は実施しない。

### (2) 今後の改善方策

- ① 同上

### Ⅲ 学生アンケート結果（在校生及び卒業生その保護者）

(1) 歯科技工士科1年における学校アンケート(Web)集計結果 回収率は、前期(9月)86.7%、後期(3月)100%といずれも高く、評価も高かった。				
質問 番号	5段階評価(適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1)	前期	後期	通年
(1)	学校は、基本的な生活習慣が身につくように指導を行った。	3.77	3.71	3.74
(2)	学校は、社会人としてのマナーを含めた人間関係の教育を行った。	3.54	3.71	3.63
(3)	学校は、専門職としての職業観を育成する教育を行った。	3.77	3.79	3.78
(4)	教員は、適切な教材(プリント等の補助教材含む)を用いてポイントを的確に押さえ、目標を明確にした授業を行った。	3.77	3.64	3.70
(5)	教員は就職して即実践に役立つ専門性のある指導(技術的指導含む)を行った。	3.77	3.71	3.74
(6)	教員は授業への出席や欠席、遅刻に対しての指導を行った。	3.92	3.86	3.89
(7)	教員は居眠りや騒がしいなど、学生の授業態度の指導を行った。	3.62	3.93	3.78
(8)	教員は分からない点(提出課題含む)は、個別対応などで粘り強く、適切に指導を行った。	3.77	3.93	3.85
(9)	教員は、成績不振者への指導・支援が十分に行われていた。	3.69	4.00	3.85
(10)	教員は、公平かつ正確な成績評価を行った。	3.77	4.00	3.89
(11)	学校(教員)・保護者・学生との間で、学校生活(成績・出席状況含む)の様子が文書・電話等を通じて共有されていた。	3.69	3.86	3.78
(12)	国家資格取得に対する指導体制は整備され、機能していた。	3.77	3.79	3.78
(13)	進路・就職に関して、学生自身が主体的に選択できるように情報の提供・指導が行われていた。	3.56	3.62	3.59
(14)	学校は、奨学金・校納金などの手続き、問い合わせに対して、分かりやすい説明がなされていた。	3.62	3.64	3.63
(15)	学校は、学生への健康管理・防災等に配慮し、健全で安全な学校生活に配慮していた。	3.69	3.86	3.78
(16)	学校は、事務局・窓口における事務手続きや電話対応など、気持ちの良い対応ができていた。	3.69	3.86	3.78
(17)	学校行事などは、様々な体験ができるように工夫されていた。	3.69	3.71	3.70
(18)	この学校に入学してよかったと思う。	3.54	3.71	3.63
		<b>3.70</b>	<b>3.80</b>	<b>3.75</b>

(2) 歯科技工士科2年における学校アンケート(web)集計結果  
 回収率は、前期(9月)100%、後期(3月)46.7%であった。後期の回収分に関しては、評価は高かったが卒業前後の回収のため回収率が低かったと推察される。

質問番号	5段階評価(適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1)	前期	後期	通年
(1)	学校は、基本的な生活習慣が身につくように指導を行った。	3.69	3.71	3.70
(2)	学校は、社会人としてのマナーを含めた人間関係の教育を行った。	3.81	3.71	3.78
(3)	学校は、専門職としての職業観を育成する教育を行った。	3.81	4.00	3.87
(4)	教員は、適切な教材(プリント等の補助教材含む)を用いてポイントを的確に押さえ、目標を明確にした授業を行った。	3.69	4.00	3.78
(5)	教員は就職して即実践に役立つ専門性のある指導(技術的指導含む)を行った。	3.81	3.86	3.83
(6)	教員は授業への出席や欠席、遅刻に対する指導を行った。	3.31	3.57	3.39
(7)	教員は居眠りや騒がしいなど、学生の授業態度の指導を行った。	3.75	3.57	3.70
(8)	教員は分からない点(提出課題含む)は、個別対応などで粘り強く、適切に指導を行った。	3.88	4.00	3.91
(9)	教員は、成績不振者への指導・支援が十分に行われていた。	3.63	3.86	3.70
(10)	教員は、公平かつ正確な成績評価を行った。	3.63	3.71	3.65
(11)	学校(教員)・保護者・学生との間で、学校生活(成績・出席状況含む)の様子が文書・電話等を通じて共有されていた。	3.69	4.00	3.78
(12)	国家資格取得に対する指導体制は整備され、機能していた。	3.81	4.00	3.87
(13)	進路・就職に関して、学生自身が主体的に選択できるように情報の提供・指導が行われていた。	3.69	4.00	3.78
(14)	学校は、奨学金・校納金などの手続き、問い合わせに対して、分かりやすい説明がなされていた。	3.56	4.00	3.70
(15)	学校は、学生への健康管理・防災等に配慮し、健全で安全な学校生活に配慮していた。	3.69	3.86	3.74
(16)	学校は、事務局・窓口における事務手続きや電話対応など、気持ちの良い対応ができていた。	3.81	3.86	3.83
(17)	学校行事などは、様々な体験ができるように工夫されていた。	3.75	3.57	3.74
(18)	この学校に入学してよかったと思う。	3.56	4.00	3.70
		<b>3.70</b>	<b>3.85</b>	<b>3.75</b>

(3) 歯科衛生士科1年における学校アンケート(web)集計結果  
 回収率は、前期(10月)88.6%、後期(3月)79.1%であった。後期の回収率はやや下がり、項目により評価は上下したが平均では高くなった。

質問番号	5段階評価(適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1)	前期	後期	通年
(1)	学校は、基本的な生活習慣が身につくように指導を行った。	3.31	3.38	3.34
(2)	学校は、社会人としてのマナーを含めた人間関係の教育を行った。	3.41	3.56	3.48
(3)	学校は、専門職としての職業観を育成する教育を行った。	3.41	3.38	3.40
(4)	教員は、適切な教材(プリント等の補助教材含む)を用いてポイントを的確に押さえ、目標を明確にした授業を行った。	3.23	3.32	3.27
(5)	教員は就職して即実践に役立つ専門性のある指導(技術的指導含む)を行った。	3.31	3.38	3.34
(6)	教員は授業への出席や欠席、遅刻に対する指導を行った。	3.36	3.62	3.48
(7)	教員は居眠りや騒がしいなど、学生の授業態度の指導を行った。	3.64	3.44	3.55
(8)	教員は分からない点(提出課題含む)は、個別対応などで粘り強く、適切に指導を行った。	2.92	3.24	3.07
(9)	教員は、成績不振者への指導・支援が十分に行われていた。	3.08	3.59	3.32
(10)	教員は、公平かつ正確な成績評価を行った。	3.18	3.09	3.14
(11)	学校(教員)・保護者・学生との間で、学校生活(成績・出席状況含む)の様子が文書・電話等を通じて共有されていた。	2.77	3.41	3.07
(12)	国家資格取得に対する指導体制は整備され、機能していた。	3.21	3.35	3.27
(13)	進路・就職に関して、学生自身が主体的に選択できるように情報の提供・指導が行われていた。	3.00	3.10	3.04
(14)	学校は、奨学金・校納金などの手続き、問い合わせに対して、分かりやすい説明がなされていた。	3.18	3.26	3.22
(15)	学校は、学生への健康管理・防災等に配慮し、健全で安全な学校生活に配慮していた。	3.03	3.24	3.12
(16)	学校は、事務局・窓口における事務手続きや電話対応など、気持ちの良い対応ができていた。	3.51	3.56	3.53
(17)	学校行事などは、様々な体験ができるように工夫されていた。	3.15	3.03	3.10
(18)	この学校に入学してよかったと思う。	3.03	2.82	2.93
		<b>3.21</b>	<b>3.32</b>	<b>3.26</b>

(4) 歯科衛生士科2年における学校アンケート(web)集計結果  
 回収率は、前期(10月)96.8%、後期(3月)67.7%であった。本学年が入学と同時にコロナの影響を受けたこともあってか、全体に比べて評価が低かった。

質問番号	5段階評価(適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1)	前期	後期	通年
(1)	学校は、基本的な生活習慣が身につくように指導を行った。	3.43	2.95	3.24
(2)	学校は、社会人としてのマナーを含めた人間関係の教育を行った。	3.40	3.14	3.29
(3)	学校は、専門職としての職業観を育成する教育を行った。	3.37	2.91	3.18
(4)	教員は、適切な教材(プリント等の補助教材含む)を用いてポイントを的確に押さえ、目標を明確にした授業を行った。	3.10	2.71	2.94
(5)	教員は就職して即実践に役立つ専門性のある指導(技術的指導含む)を行った。	3.23	2.95	3.12
(6)	教員は授業への出席や欠席、遅刻に対する指導を行った。	3.37	2.95	3.20
(7)	教員は居眠りや騒がしいなど、学生の授業態度の指導を行った。	3.33	3.00	3.18
(8)	教員は分からない点(提出課題含む)は、個別対応などで粘り強く、適切に指導を行った。	2.97	2.76	2.88
(9)	教員は、成績不振者への指導・支援が十分に行われていた。	3.13	2.71	2.96
(10)	教員は、公平かつ正確な成績評価を行った。	2.97	2.81	2.90
(11)	学校(教員)・保護者・学生との間で、学校生活(成績・出席状況含む)の様子が文書・電話等を通じて共有されていた。	3.07	2.67	2.90
(12)	国家資格取得に対する指導体制は整備され、機能していた。	3.20	2.95	3.10
(13)	進路・就職に関して、学生自身が主体的に選択できるように情報の提供・指導が行われていた。	3.10	2.74	2.96
(14)	学校は、奨学金・校納金などの手続き、問い合わせに対して、分かりやすい説明がなされていた。	3.00	3.14	3.06
(15)	学校は、学生への健康管理・防災等に配慮し、健全で安全な学校生活に配慮していた。	3.20	2.95	3.10
(16)	学校は、事務局・窓口における事務手続きや電話対応など、気持ちの良い対応ができていた。	3.27	3.24	3.25
(17)	学校行事などは、様々な体験ができるように工夫されていた。	2.80	2.43	2.65
(18)	この学校に入学してよかったと思う。	3.23	2.62	2.98
		<b>3.18</b>	<b>2.87</b>	<b>3.05</b>

(5) 歯科衛生士科3年における学校アンケート(web)集計結果  
 回収率は、前期(10月)80.0%、後期(3月)71.4%であった。卒業前後の回収のため回収率がやや下がったと推察される。

質問番号	5段階評価(適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1)	前期	後期	通年
(1)	学校は、基本的な生活習慣が身につくように指導を行った。	3.54	3.56	3.55
(2)	学校は、社会人としてのマナーを含めた人間関係の教育を行った。	3.50	3.48	3.49
(3)	学校は、専門職としての職業観を育成する教育を行った。	3.50	3.52	3.51
(4)	教員は、適切な教材(プリント等の補助教材含む)を用いてポイントを的確に押さえ、目標を明確にした授業を行った。	3.57	3.16	3.38
(5)	教員は就職して即実践に役立つ専門性のある指導(技術的指導含む)を行った。	3.64	3.16	3.42
(6)	教員は授業への出席や欠席、遅刻に対しての指導を行った。	2.86	3.04	2.94
(7)	教員は居眠りや騒がしいなど、学生の授業態度の指導を行った。	3.21	2.96	3.09
(8)	教員は分からない点(提出課題含む)は、個別対応などで粘り強く、適切に指導を行った。	3.46	3.24	3.36
(9)	教員は、成績不振者への指導・支援が十分に行われていた。	3.43	3.36	3.40
(10)	教員は、公平かつ正確な成績評価を行った。	3.39	3.04	3.23
(11)	学校(教員)・保護者・学生との間で、学校生活(成績・出席状況含む)の様子が文書・電話等を通じて共有されていた。	3.50	3.00	3.26
(12)	国家資格取得に対する指導体制は整備され、機能していた。	3.46	3.24	3.36
(13)	進路・就職に関して、学生自身が主体的に選択できるように情報の提供・指導が行われていた。	3.39	3.28	3.34
(14)	学校は、奨学金・校納金などの手続き、問い合わせに対して、分かりやすい説明がなされていた。	3.25	3.24	3.25
(15)	学校は、学生への健康管理・防災等に配慮し、健全で安全な学校生活に配慮していた。	3.36	3.28	3.32
(16)	学校は、事務局・窓口における事務手続きや電話対応など、気持ちの良い対応ができていた。	3.25	3.72	3.47
(17)	学校行事などは、様々な体験ができるように工夫されていた。	3.29	3.08	3.19
(18)	この学校に入学してよかったと思う。	3.43	3.60	3.51
		<b>3.39</b>	<b>3.28</b>	<b>3.34</b>

(6) 卒業生保護者アンケートの集計結果

回収率：歯科技工士科（DT科）46.7 %、歯科衛生士科（DH科）54.3 %、全体として 52.0 %であった。  
 なお、ペーパーレス化の推進から、学校アンケートの回収及び集計はwebアンケートによるもの。

質問番号	5段階評価（適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1）	DT保護者	DH保護者	全体平均
(1)	学校が目指している教育方針や教育理念などある程度理解していた。	3.43	3.37	3.38
(2)	学校は、保護者の要望によく応えていた。	3.29	3.37	3.35
(3)	学校は学生の教育活動（成績・出席状況など）の様子を適時知らせていた。	3.71	3.47	3.54
(4)	学校が保護者に出す文書・事務連絡などは適切であった。	3.29	3.63	3.54
(5)	学生が満足するよう、学校生活の工夫を行っていた。	3.14	3.42	3.35
(6)	教職員は職責感をもって、指導の充実に努力していた。	3.57	3.58	3.58
(7)	教職委は学生・保護者に誠意をもって接していた。	3.57	3.32	3.38
(8)	知識の修得を図るための効果的な学習指導が行われていた。	3.57	3.68	3.65
(9)	就職して即実践（即戦力として）に役立つような技術の指導が行われていた。	3.43	3.63	3.58
(10)	国家資格取得のための指導は適切に行われていた。	3.57	3.68	3.65
(11)	学生の相談に関する体制が整備され、有効に機能していた。	3.14	3.58	3.46
(12)	実社会に出て即対応できるようなマナーや躰などを含めた人間形成の教育が行われていた。	3.29	3.63	3.54
(13)	就職などに対する指導体制は整備され、有効に機能していた。	3.43	3.58	3.54
(14)	学生が主体的に選択できる適切な情報（進路・就職など）の提供が行われていた。	3.43	3.58	3.54
(15)	学校の施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されていた。	3.43	3.63	3.58
(16)	学生への健康管理・防災・防犯に配慮し、学校施設・設備は点検・整備されていた。	3.43	3.42	3.42
(17)	本校在学中の学納金は適切であった。	3.00	3.42	3.31
(18)	この学校に入学させてよかったと思う。	3.57	3.79	3.73
		<b>3.41</b>	<b>3.54</b>	<b>3.51</b>